

## 講義レジュメ

講 師 竹 内 有 理

内容・テーマ

地域と連携した博物館の事業展開

期 日 10月6日

長崎歴史文化博物館は2005年11月に長崎県と長崎市によって設立された長崎の歴史と文化をテーマにした博物館である。2013年の地方自治法の改正によって導入された指定管理者制度をいち早く採り入れ、民間企業である株式会社乃村工藝社が開館以来、指定管理者として管理運営にあたっている。同じ年に開館した長崎県美術館と合わせて長崎県内の中核博物館として位置づけられている。

江戸時代、長崎奉行所立山役所があった場所に建物の一部が復元され、新しく長崎歴史文化博物館としてオープンしたが、所蔵資料は長崎県と長崎市が所蔵していた資料約4万8000点を受け継いでいる。過去の歴史を継承しつつ、現代社会に求められる新たなミッションを掲げてオープンし、運営にあたっている。

なかでも地域との連携や地域社会への貢献は運営の重要な基本方針として位置づけており、その課題を果たすべく様々な取り組みを行ってきた。地域の様々な団体や個人を取り込み、連携していくことは、博物館の事業展開を豊かにするだけでなく、博物館が地域に根ざしていくための必須要件でもあると考えている。市民みずからが博物館の利用者であると同時に博物館運営の主体でもあるという関係がこれからの博物館には求められるのではないだろうか。

### 〔参考文献〕

長崎歴史文化博物館教育実践報告書

『出会いが生み出す学びのレシピー学校×博物館=∞-』2013年

『地域との連携ーボランティアー』2014年

『アウトリーチ活動』2015年

『市民と連携した教育実践』2016年

『長崎の伝統工芸を活用した教育実践』2017年